

# 1. 評価結果概要表

作成日 平成20年11月23日

## 【評価実施概要】

事業所番号	2970103392
法人名	有限会社 トミ
事業所名	グループホームどんぐり
所在地	奈良市中山町1748番地1 (電話) 0742-52-5881
評価機関名	奈良県国民健康保険団体連合会
所在地	奈良県橿原市大久保町302-1 奈良県市町村会館内
訪問調査日	平成20年11月18日

## 【情報提供票より】(20年11月1日事業所記入)

### (1) 組織概要

開設年月日	平成17年11月1日		
ユニット数	1 ユニット	利用定員数計	9 人
職員数	12人	常勤	3人, 非常勤 9人, 常勤換算 5.1人

### (2) 建物概要

建物構造	軽量鉄骨 造り		
	1階建ての	1階	～ 階部分

### (3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	90,000 円	その他の経費(月額)	42,000 円
敷金	無		
保証金の有無 (入居一時金含む)	有(252,000 円)	有りの場合 償却の有無	有
食材料費	朝食	300 円	昼食 400 円
	夕食	600 円	おやつ 100 円
	または1日当たり 円		

### (4) 利用者の概要(11月1日現在)

利用者人数	9名	男性	1名	女性	8名
要介護1	1名	要介護2	1名		
要介護3	5名	要介護4	2名		
要介護5		要支援2			
年齢	平均 85.1歳	最低	78歳	最高	99歳

### (5) 協力医療機関

協力医療機関名	中島クリニック、西奈良中央病院、高の原中央病院
---------	-------------------------

## 【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

当ホームは、少し遠巻きに学校や散策の出来る森がある住宅地の中に開設されています。バリアフリーで設計された1ユニット、自然の採光がとり入れられ、清潔で明るく団欒の雰囲気のあるホームです。管理者と施設長は親子で、開設時から協力し合って、よりよいホーム作りにそれぞれの得意分野を発揮され、行き届いたケアと利用者が地域の中で関わりながら生活できるような取り組みをされています。

## 【重点項目への取り組み状況】

重点項目	前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)
	前回評価で課題とされた「水分チェック」については、スタッフと相談検討し、水分チェック表で個別に詳細に記録するようにされています。これにより、個々の利用者の平均的な水分摂取量は把握できる状態にあります。
重点項目	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)
	施設長・管理者は評価の意義、趣旨を正しく理解し、自己点検の機会として取り組まれています。課題とされ点は、職員と共に検討し、改善への取り組みがなされています。なお、職員も実際に自己評価項目に接して一緒に検討する機会を持たれることを期待します。
重点項目	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6)
	運営推進会議は、定期的開催され、ホームでの利用状況や取り組みの報告と、地域での行事などの情報交換により、交流等サービス向上の機会として活かされています。
重点項目	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8)
	家族の面会時やサービス計画の説明時等に、意見や要望を聞くようにされています。また、些細な提案であっても、反映していく取り組みもされています。なお、家族会を年1回開かれています。各種行事の機会をとらえる等、複数の家族が、意見交換出来る機会を多く作るよう根気よく取り組まれています。
重点項目	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)
	学校帰りの子供が立ち寄り、庭園を地域の人々に開放する等交流を図るための取り組みをされています。地元の行事への参加、近隣の学校や幼稚園の行事への参加で、小さい子供から、PTA、高齢者と幅広く交流されています。

## 2. 評価結果(詳細)

(  部分は重点項目です )

取り組みを期待したい項目

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	( 印 )	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>. 理念に基づく運営</b>					
1. 理念と共有					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	運営理念として、「家庭的な環境」を中心にすえ、「重要事項」の「運営目的・方針」の1項目として、「地域と交流し、利用者の市民としての生活を大切にする」と明確にされています。	○	文言として「地域密着」にふれたものではありませんが、実際に、開設当初より、地域や周辺の学校・保育所などとの交流を当たり前のように取り組まれていますので、「理念」として明確に打ち出されてはいかがでしょうか。
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	日々の申し送りや実際の地域交流を通して、理念の意義の理解を深めていけるような取り組みをされています。		
2. 地域との支えあい					
3	5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	学校帰りの子供が立ち寄ったり、庭園を地域の人々に開放する等交流を図るための取り組みをされています。地元の行事への参加、近隣の学校や幼稚園の行事への参加で、小さい子供から、PTA、高齢者と幅広く交流されています。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	施設長・管理者は評価の意義について、趣旨を正しく理解し、自己点検の機会として取り組まれています。課題とされ点は、職員と共に検討し、改善への取り組みがなされています。	○	自己評価に当たって、施設長や管理者が、職員の意見を汲み上げる努力をされていますが、職員も実際に自己評価項目に接して一緒に検討する機会を持たれるよう工夫されることを期待します。
5	8	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議は、定期的開催され、ホームでの利用状況や取り組みの報告と、地域での行事などの情報交換により、交流等サービス向上の機会として活かされています。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
6	9	市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	地域包括支援センターからのホーム見学を受け入れたり、今後のこととして、認知症理解を広めるための共同の取り組みを検討されています。		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	面会時や電話での連絡の他、毎月「どんぐり通信」を発行し、写真をふんだんに使い、ホームでの生活ぶりやホームの取り組み及び計画が分かりやすく工夫し報告されています。また、買い物外出時の個別の購入については立替で支払い、利用料と一緒に内訳を明らかにして請求されています。		
8	15	運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	家族の面会時やサービス計画の説明時等に、意見や要望を聞くようにされています。些細な提案であっても、反映していく取り組みもされています。	○	家族会を年1回開かれています。各種行事の機会をとらえる等、複数の家族が、意見交換出来る機会を多く作るよう根気よく取り組まれているかがどうか。
9	18	職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	施設長・管理者・常勤スタッフを基軸に、馴染みの職員が対応されています。職員の異動時には、利用者へのダメージを極力少なくするために、新入職員には先ず各利用者のケア方法を覚えられるよう指導されています。		
5. 人材の育成と支援					
10	19	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	小規模のホームであることから、内部研修の機会が限られており、極力外部研修の情報を提供し、参加を勧めるようにされています。		
11	20	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	内部研修の一環として、複数の他事業所との見学交流に取り組み、他事業所の職員の意見を聞いたり見学することで、気がつかなかったことを発見するなどサービスの質向上につなげられています。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	<p>馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>	<p>本人が納得して利用していただけるように、面談を兼ねて、ホームに来ていただき、他の利用者とも一緒に過ごせるようにされています。希望があれば、体験入居も受け入れられています。</p>		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	<p>本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	<p>「家族的」という理念に沿って、野菜や花の世話について教えてもらったり、テレビの話題を共有するなど、利用者と一緒に家族のように喜怒哀楽を共にし生活することを大事されています。</p>		
<b>.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>利用開始時のアセスメント情報と利用後に収集される利用者の希望や意向を把握する他、利用者とは日常的なかかわりの中で、家族とは面会時などの話しの中で把握し、本人本位に検討されています。</p>		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>介護計画は、日常的なコミュニケーションの中で、本人・家族の意向や希望の把握に努め、スタッフ間の朝夕の申し送り・ミーティングや往診後の医師とのカンファレンスなどで検討したものを計画責任者が作成されています。</p>		
16	37	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>介護計画は定期的に期間を定め見直しされています。また、利用者の身体等の状態に変化が生じた時は、かかりつけ医と相談し、家族の意向を量りながら、計画に盛り込むようにされています。</p>		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	( 印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	個別に希望される美容院や病院などへの送迎について、家族などの状況に応じて柔軟に対応されています。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	本人や家族の意向によるかかりつけ医の受診については、家族の協力により受診されますが、状況によって、送迎支援をされています。2週間に1回協力医による往診があり、医療面での相談支援体制があります。		
19	47	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	重度化への対応は、管理者が看護師として老人ホームで勤務した経験を活かし、医師の協力と本人・家族の十分な意思確認を得ながら実施していきたいと考えられています。		
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
20	50	プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	言葉使いや個人情報の保護については、職員採用時に十分説明し、日常的な支援の中で、個人を尊重した対応がなされています。記録などの情報については全て、事務所で適切に管理保管されています。		
21	52	日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	一応の日課は定められていますが、利用者の気分や要望に沿って、それぞれの利用者のペースに合わせて過ごせるように支援されています。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	キッチン是对面式で、食事作りの経過をリビングで共有し、利用者が参加しやすい構造になっています。利用者が手伝いやすいようにワゴンを活用して、配膳してもらったり、片づけを一緒にするなど、食事が楽しめるように支援されています。		職員は、利用者と同じテーブルを囲み食事をしていますが、弁当を持参されている職員もあります。食事は、栄養面での事もありますが、調理に関した喜びや楽しみを満たす面も考慮する等、ホームの特性を踏まえて入居者と一緒に同じ食事を楽しめる環境づくりを前向きに検討されることが望まれます。
23	57	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	利用者のその日の気分や希望に応じ、快く入浴してもらえよう、時間帯を固定することなく対応されています。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	野菜作りや収穫、庭の花の世話、食事時の「配膳係」、片付けなどのほか、買い物・外食・子供たちと交流する等、利用者の希望や能力が発揮出来る機会を多く作るよう努力されています。		
25	61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	近くの散歩は毎日のように実施されています。地域の学校や幼稚園との交流等、外出や通院、ドライブ、外食なども取り組まれています。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	鍵をかけないケアの大切さをよく理解され、利用者の動きを把握できる見守りの体制があり、玄関、庭の戸も開放されています。		
27	71	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	利用者も避難訓練や防災訓練等の訓練を実施し、各マニュアルや防災計画を作成されています。消防署からは出張指導等の協力体制が整えられています。	○	食料や水の備蓄については、今後の課題として早急に検討されるよう期待します。また、地域との交流や運営推進会議等を通じ、災害時に地域からの応援を受けられよう、一層の取り組みを期待します。

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	( 印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事と水分の摂取量の把握と、定期的な栄養士による栄養バランスのチェックをされています。いつでもお茶が飲めるように食卓に設置されています。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1) 居心地のよい環境づくり					
29	81	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	リビングダイニングを取り囲むように居室を配置し、バリアフリー設計で、玄関からの出入りも、リビングからテラスや庭への出入りもスムーズに行えるよう利用者の動線に配慮した設えになっています。リビングの採光は高い天井から自然光が差し込み、明るく穏やかな団欒の共用空間となるよう工夫されています。		
30	83	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	たんすや寝具等の家具は家庭で使用されていたものが持ち込まれている他、思い思いの絵や写真などを飾り本人が居心地よく過ごせるよう工夫されています。		